



2018. 8号

発行

社会福祉法人川崎愛児園
児童養護施設川崎愛児園
発行月 平成30年9月

住所

〒216-0035
神奈川県川崎市宮前区
馬絹1丁目24番5号
TEL: 044(855)2591
FAX: 044(865)4445
mail: kaijie@k-aijien.jp

印刷

野崎印刷紙器株式会社

みんなつながっている



理事長
野村 隆

社会福祉法人川崎愛児の各施設が児童養護の目的を果たしていることは職員の方々の尽力とご支援のおかげであると感謝申し上げます。

またも地震・豪雨等の天災と虐待・暴力等の人災が頻発して人命が失われています。

庭に山鳩が巣を作り、雛が生まれましたが鳩に襲われました。レモンの木に揚羽蝶の幼虫が数匹いましたが翌日にはなくなっていました。雀が猫に襲われていました。生命のあるものすべてが命をつなぐことに懸命です。生命の起源は星の爆発によって宇宙に撒かれた物質があると研究されています。宇宙・銀河の話を知っているときは日常生活と無縁のこと、夢が現実になると思っています。

これが地球のことに及んでくると地震・噴火・風水害・大気水質汚染・資源食料不足と日常生活に繋がって夢どころではなく

ます。

自己を守るため属する集団の利益を求めて他を排除する行為が生じてきましたが、人類は歴史に学び共存が共栄の基であると認識しつつあります。人と人、人と生物、自然環境がつながって共生しています。福祉施設では人材不足が言われています。事業活動をするすべての業種が人材不足です。ある商店街が不振となったので、大々的に広告宣伝をして客を集めました。隣の商店街は客が少なくなり、さらに大々的に広告宣伝をして客を取戻し、同じことを繰り返して共倒れになったような話に似たことが繰り返されています。経済の用語の意味は「経世済民」の略からきています。まさに経済活動・営利活動は福祉そのものです。営利法人も制度の相違はあるものの求めるところは人の幸福です。

究極の幸福・福祉は命を守り継いでいくことであると独断しています。社会福祉法人は営利法人に支えられているところが大きく、その成長が社会福祉法人の基礎となります。

社会福祉法人についての改正後1年の運営は園長をはじめとする職員全員の献身的勤務により誇れる成果を示せたものと思います。

今後さらに経営・組織の健全性・透明性・公益性に留意して社会的使命を果たしていきます。日頃御支援頂いている皆様には、これからも暖かく厳しくお見守り下さるようお願い申し上げます。

山鳩は元の場所に巣を作りはじめました。



広報誌第8号にご寄せて



施設長
白戸 隆

年に一度ですが「さくら」を発行することができ嬉しく思っています。毎日のことながらこの紙面では、地域の関係する方々と各面で支援をいただいているみな様への感謝の気持ちをお伝えすることが主になっています。たくさんの励ましやご支援をいただき心から感謝申し上げます。また、この広報誌を通じて愛児園で暮らす子どもたちの活躍の様子、職員の頑張りや少しでも伝わることでみんなが元気になると思っています。

人が成長するということはいろいろな苦難はつきもので、自分の頑張りはもちろんその原動力になるものは他者からの理解や受け入れられているという実感、励ましや共感、目標となる人物等々、いろいろな影響を受けて育つのだなあという感じがします。

自分の存在そのものが認められているという実感を日々の生活の中で自然と育むことがいかに大切であるかということ。私たちは、子どもたちとの生活で揺れ動きながらも、この大切なことを繰り返し認識する必要があります。諸先生方やみな様とのかわり中から奥行きや深みのある言葉を思い起こし、自分たちの糧として学んだことを活かしていきたいと思えます。

今後ともみな様方のあたたかいご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

法人の基本理念

当法人は命の尊さを大切にし、愛情をもって社会福祉事業を効果的かつ適正に行い、地域社会への貢献に努めます。また、地域社会の中で「将来を担う子どもたちへ」の質の高い養育及び子育て支援を目指します。さらに、事業経営の透明性と健全な経営を目指します。

「命を大切にすること」

「地域の中で養育と子育て支援」

「健全な経営」

施設の基本方針

児童一人ひとりが命を大切にすることをもち、心身ともに健康で調和のとれた人間として成長し、健全な社会人として自立した社会生活が営めるよう支援します。また、施設機能の専門性を活かし地域社会に協力します。

1. 一人ひとりの心身の成長に努めます
2. 一人ひとりの尊厳を維持し人権を擁護します
3. 一人ひとりの幸福のために支援します
4. 自立した社会生活が営めるように支援します
5. 施設の社会的、専門的役割を果たします

養護目標

社会的養護を必要とする入所児童に対しての基本目標は次の通りです。

1. あいさつの正しくできる人に
2. 健康な体と心をもてる人に
3. 人に好かれ、社会に役立つ人に
4. 感謝の気持ちをもてる人に
5. 人との調和がとれる人に
6. 思いやりのある人に
7. 基本的な生活や自立した生活ができる人に

川崎愛児園とのご縁と多くの人びとに支え支えられることの意味を想う



評議員 宇都 榮子

川崎愛児園と私がご縁を得たのは、前園長鈴木先生が専修大学の私の研究室を訪ねてくださり、私に子どもサポートの委員を引き受けてほしいとのご依頼を受けたことに始まっています。

鈴木先生とは、全国児童養護施設協議会施設長会議（鹿児島で開催）でお会いしていました。それ以来、ゼミ生が学習ボランティアとして愛児園で学ばせていただき、私は子どもサポートでも私たちの権利擁護に関わるお手伝いをさせていただきました。愛児園に関わり始めて間もなくして園の中が落ち着かず子どもたちの生活の場としては問題を抱える様になりました。白戸先生が鈴木先生の後を受けて食堂の壁を塗り替えたりして環境整備をされていき、愛児園を訪問すると挨拶がありお茶も自然に出てくるというごくごく普通の生活のあり方が自然に行なわれるようになり園も落ち着きを取り戻してきました。子どもたちは愛児園を卒園したらやがて自分たちで家族を形成していくことになり、そんな時、ごく普通に家族を形成していくことが出来るような生活力を身につけてもらえるような生活の場を提供できることがとても大切になってくると思います。その意味では現在のユニット型の養護はいいのかなと思います。

私は、児童養護施設の歴史研究を行っていますが、明治期には現在のような措置費という公的援助はありませんでした。そこで人びとの集まる浅草の観音様やその他の寺院、駅等に慈善箱などと称する箱をおいて募金していました。こうした寄付金の支えもあり今日に続く施設の営みが続けられてきています。また、濃尾震災や三陸津波など自然災害発生時には被災地に全国の社会事業家たちが馳せ参りました。そうした営みが今日の私たちの支えになっていることを忘れていけないと感じています。

福田会育児施入恵施箱（方広寺所蔵）



資料：「伊豆屋伝八文化振興財団紀要」第5号 カラー図版6頁所収

地域の子どもたちの宝・愛児園



評議員 浮岳 亮仁

「〇〇さんって、一年近く学校に行けなかったみたいなんだけど、最近、どんどんみんなに追い付いてきたよ。すごく頭がいいんだね。」このあいだ話してくれたんだけど、〇〇さんは愛児園に来る前は大変だったんだって。私は恵まれてるんだね。」

昨年、小学5年生だった私の娘は、愛児園から通っている同級生と仲良くなり、家ではよくその友達の話をしていました。たぶん、自分とは全く違う生き立ちや生活環境の友達がとても新鮮に見え、興味をもったのでしょう。また、私の妻が外国人であることから、他の家庭とは違うという意識から、特に共感したのかもしれない。

私は、宮崎小学校のPTA会長を4年間務めました。その間には、区内はもちろん、市内や県外のPTA会長たちとお互いの学校の話をする機会がたくさんありました。わが宮崎小学校の自慢は、明治6年創立という歴史の長さ、1,100人を超える児童数、約900の家庭数という規模の大きさです。さらに、学区に愛児園という児童養護施設があり、入所している子どもたちも一緒に通っているということが挙げられます。これは、他ではあまりないようで、一緒に興味を示されました。それと同時に、何か問題はないか、などと聞いてくる方もいました。そんな問いに私はこう答えます。「いいえ。問題どころか子どもたちにとって貴重な学びの機会になっています。」と。

私たちが住む社会は非常に複雑で、多様な他者への理解がなければ成り立ちません。そんな中、愛児園の存在は、子どもたちが小学校の段階から社会の問題に目を向け、考えることができる大きなきっかけになっています。また、個々の交流によって偏見もなくなるでしょう。このように自然に多様な境遇を持つ子供たちが近くにいるという学習環境は、あえて作ることはできません。この環境に地域の子どもたちとともに感謝しつつ、今後の愛児園の益々のご発展をお祈り申し上げます。

微力ながら委員の仕事 させていたただいております



東洋大学 内田 塔子

2017年より権利擁護
虐待防止委員をさせて頂いた
ております。貴園には、東
洋大学が保育士養成を始め
当初から実習でお世話になり
私のゼミの卒業生2名が現在
白山愛児園で働いています。
保育士養成に関わって14

年目になります。今年の3月に送り出した卒業生でゼミ
卒業生が100名を超えました。印象深い学生は毎年いるので
すが、勤め始めて数年目の頃、ゼミ生から大学を辞めた
いという相談を受けたことがあります。授業はすべて出席
し、試験やレポートもこなしていた学生だったので、その
ような悩みを抱えているとは思っても驚きま
した。理由を聞くと、自分は今つきあっている人と早く結
婚してお母さんになりたいので、大卒の学位も資格も必要
ないと思うに至ったというのです。それに対して、当時私
は、「ここまで単位を取得してきてあともう少しなのにもつ
たいないとか、結婚しても大学は続けられるとか、とりあ
えず資格を取得しておけば仕事をしなくなった時に役立つ
とか、そのような話をして引き留めました。でも結局この
学生はその後大学に来なくなり、3年生の途中で退学して
いきました。その後、彼女と仲が良かった学生から、彼女
が退学後すぐに結婚し、今ではお母さんになって子育てに
奮闘していると聞きました。それを聞いてハッとしました。
当時私は、彼女のためによかれと思って退学を思いとどま
るようアドバイスしたつもりでしたが、彼女の「退学した
い」という思いに向き合えていなかった、あの時彼女は自
分のことを否定されたと思ったかもしれない、と思いまし
た。無意識のうちに自分の価値観やものさしで判断してい
たこと、それが相手の理解や相手との意思疎通を妨げてし
まうかもしれないことを、彼女に教えてもらいました。
私は100人の卒業生のおかげで100通りの人生を垣間見せ
てもらっています。学生との関わりの中で「失敗した」と
思うことは日々起こりますが、せめて次の100人の学生の思
いを今よりもっと柔軟に受け止められるようにいかしてい
こうと思っています。

平成30年度 ご寄附者様一覧

日頃よりご支援・ご協力いただきまして、ありがとうございます。

尚、一部お名前が分らず姓のみとさせて頂いている方もいらっしゃいますがご了承下さい
またお名前に誤字脱字等ございましたら、ご一報・ご指摘下さい(順不同・敬称省略)。

個人 ... 手塚勝也 太内義明 菊池哲夫 瓜田緑 平岡康子 平田喜一郎 嘉山兼則 木内賢一 柴田弘之 和美 戸石浩司 上原久典 経代 平林茂 中田新一郎 めぐみ 落合文雄 小島喜芳 青山光征 良子 石川誠 洋子 伊崎輝子 安藤高久 田中洋子 目代由美子 松本良保 北川智子 佐々木裕子 山川洋子 近藤智恵 吉田薫 立原智子 幸山真理子 宇田川恵子 織茂耕治 中智智美 加藤信二 瀧澤祐子 住職 安藤秀岳 友松祥之介 利英子 浅岡栄 福井文治 三宅寛 渡辺俊子 青木隆 小宮山康生 藤田奈保子 佐々木朋美 吉原保昭 眞田恵子 山川きよ子 大川原美樹 工藤淑子 鈴木政明 雅代 嘉山絃子 竹内綾 田辺国治 立原希哲 市川洋子 中田由紀子 片岡サカエ 秋岡正男 小関博之 石川絃子 飯島正之 岩崎輝子 栗山恵吉 宮城久美子 的場福恵 佐野悦雄 長澤義浩 森正俊 本川由香 伊地知洋 長澤安記 道岡結子 杉野綾子 武蔵澄子 堀富博 上地雄輔 柏崎恵美子 松本由紀子 中村剛也 岡崎弘 小西山香菜子 瀧川成躬 小沼麗子 平野町会会長 加宮直代志 須藤敦子 井上智恵子 出口賢道 中田綾子 岡田広介 渡辺欣哉 有馬療養温泉 安岡重高 武井明 西中山あすか 吾妻貞和 中野徹 岡田美智子 芹田加代子 浅野弘毅 藤田友子 重谷智香子 稲田美栄 志村俊彦 清水新一 植田優 田中章皓 民生委員 安藤謙一 佐藤慎一 青木実治 田中知佐江 黒田尚代 石井撰子 梅本真音 加藤昇 加藤津美 谷山徳法 矢城協子 飯島由里子 神道麻貴子 中島紀夫 大木直美 山本周子 佐藤良勝 茶谷聖美 山田真弓 広瀬綱子 垣谷江里子 坂井マズミ 長岡いづみ 白鳥幸子 勝野由美子 丸山次夫 萩田強 安岡正則 セルマ中村 森岡リエ 宮城みづえ 津崎一郎 藤谷裕美 大橋由利 平井幸 篠田フミ 齋藤学 安藤千恵子 平出由貴 瀬戸由美子 大塚佳子 中村悦子 安藤あゆ子 久家洋子 本日廣海 吉満史代 野地愛子 森井泰子 宮内恵子 横田晴子 吉田キヨ子 土屋敏子 難波裕子 佐々木あや子 矢谷静子 五十嵐隆一 木村三由紀 木村育代 橋浦順子 山本淑子 林崎良子 宮原つくし 根本聡子 高木幸子 吉田幸子 田邊聖子 大塚宏之 小林航也 宇田敏彦 寺澤淳法 原英子 片山美夜子 一戸淑子 林文子 岡田芙美子 濱田阿佐美 高宮梧 内田塔子 三上聡史 井上高 水口 長谷川 新井 田中 橋本 横井 山下 岡 谷 他 匿名多数

団体 ... 川崎市長 川崎市社会福祉協議会 神奈川福祉事業協会 こども元気内科クリニック セブンスイレブ 新川崎店 読売新聞川崎読売会 毎日新聞東川崎店 大和リース 三菱ふそう労働組合本社支部 (株)朝日ホーム 紫虹会少年部 ルミエール小児歯科 川崎富士ライオンズクラブ 日本乳化剤(株) ヒラノ商事(株) 宮崎小学校校長・教員 (株)ワークエンジニアリング (株)シュガーレ ディー本社 (株)カレンズ 北信土建(株) (株)チュチュアンナ ガイア川崎店 ガイアくらら館 京セラ宮前平寮 青木萬吉商店 (株)ファー・イースト・ネットワーク 井上ラジコ 吉兆野川店 リ・ケア 福祉サービス ぶちらルージュ 宮前平病院 特別養護老人ホーム等々力 玉川高島屋 初山幼稚園 Curves (川崎鶴沼店・川崎宮崎台店・センター北店・センター南店・ダイエー向ヶ丘店・モアナイス上 小田中店・横浜吉野町店・横浜鶴沼店・港北新羽店・すすき野とうきょう店・麻生百合丘店・溝の口店・稲田堤店・市ヶ尾店) 日本鏡餅組合 (株)サニグリーン東京 (株)エヌアセット 一般財団法人チャイルドワン 田園調布雙葉学園中学高等学校エリザベット会 三橋園 遠藤環衛(株) (株)ライオン事務器 神奈川トヨタ自動車(株) こどものいえも保育園 フィリップモリスジャパン(株) 柳宮前関口電機 代表取締役 近藤淳一 川崎市歯科医師会 城南信用金庫宮前平支店 支店長 光英正史 川崎市馬絹郵便局 川崎野川郵便局長小泉明 ワールドメイト 根岸米軍 (社)神奈川県養豚協会会長 山口昌興 小味山電気管理事務所 ショップカド 丸井川崎店 (株)ドリマックス・テレビジョン(ドラマ本部) (株)しむら 内海哲也ランドセル基金運営事務局 NKKシームレス鋼管(株) クボタ眼科 奥野設計 (株)エルプラス (株)ガイアフィールド 東芝労働組合小向支部 東芝労働組合本社 コストコホールセールジャパン(株) 一般社団法人神奈川県馬主協会 (株)UYEKI (株)伊藤園神奈川西地区営業推進課 東京電力常備労働組合 高津看護専門学校校友会 たいまつ食品 東急百貨店グループ労働組合 グリーンハイフ手づくりの会 十文字学園女子大学人間生活学部幼児教育学科 ダスカジャパンクワテモック NPO法人RISE JAPAN (株)茂園食品 東京福祉大学リハビリホームくらら鶴沼 日本農産工業株式会社 カネコ文具店 東洋大学 梅原農園 (有)ウエハラ新聞館宮前平サービスセンター 認定特定非営利活動法人ハッピーステップ (公社)全日本不動産協会川崎支部 春日山部屋 東京医療専門学校 鶴見大学短期大学部 水上学園 トイザらス (株)大和人 高志保博孝 ほっともっと ミサワホーム(株) 宮前平ハイム自治会 あいおいニッセイ同和損害保険(株) MS&ADゆにぞんスマイルクラブ 日本出版販売(株) 楽天楽天サンタプロジェクト アーバンロケサービス 一般社団法人川崎地域自治研究センター (株)アパマンショップネットワーク 明治安田生命保険相互会社 神奈川県運動具商協同組合 宮前区社会福祉協議会 宮前第3地区社協 神奈川県社会福祉協議会 日能研全国シャンメリー共同組合 横浜西ロータリークラブ ギャップジャパン㈱コーポレートコミュニケーションズ 一般社団法人日本児童文芸家協会理事長 矢部美智代 元型物語奇蹟プロジェクト事務局 久坂セタ 日蓮宗道山慈照寺 常葉寺 ㈱ajetjapan代表取締役長澤健太 東芝セキュリティ㈱芳賀淳一 株式会社プレナス田中健司 岡村専社長 松本亮平 株式会社日本教文社 株式会社ハイパーフィットネス代表取締役 亀田政幸 宮前区更生保護女性会 オシャレ工房BN株式会社代表取締役 齊藤越崎 ファンカ化粧品 オリモファーム カンガルー宮前子育てネットワーク 岡田会計 岡田玲子 大学不動産連盟 ㈱ワレノハウスmorimotoプロジェクト 日本フィルムセンター㈱ ムーンパット プレム・ラウット日本事務局合同会社文屋代表 木下豊 株式会社三菱東京UFJ銀行鶴沼支店 高津ネットあつがる溝の口 NPO法人NGOフタふらっとホーム グランフィールズセンタークラブ代表杉山孝 読売センター川崎駅前所長 酒井通雄 ㈱富留屋古賀音庵取締役専務 大堀裕 宮前警察署生活安全課 (有)フルーツガーデン 関本 関本典子 東京サンライト㈱ 有馬鶴沼地区社会福祉協議会会長 福田照 柿生駅前ファミリー歯科 マツダ樹花野一平 そめや内科クリニック 全日本不動産協会神奈川県本部川崎支部 日本トラスティサービス信託銀行㈱ 社会福祉法人神奈川県共同募金 関東アイスクリーム協会 川崎労働者福祉協議会事務局 成田仁 アサヒ飲料株式会社 ㈱公益社

その他 ... 愛児園祭りバザー品寄附: 沢山の方々のご協力に感謝申し上げます。

来たる

川崎愛児園祭りのお知らせ

平成30年10月13日(土)

10:00 ~ 14:00

毎年恒例の愛児園祭りを開催いたします!!

川崎愛児園ではバザーの提供品の募集をしております。

ご提供していただく品物に決まりはありませんが、未使用品とさせて頂いております。

ご提供いただける場合は、おそれ入りますが10月11日(木)までに直接川崎愛児園に品物をお持ちいただければ幸いです。毎年多くの方々に品物を頂いて盛況に行うことができます。

今年もご協力いただけますようお願いいたします。

幼児フロア

つぼみ

今年度のつぼみユニットは年少児1名、年中児2名、小学生2名の計5名でスタートしています。

個性豊かな子が多いユニットですが、6月に2歳児が新たに加わり、より賑やかに楽しく過ごしています。

子ども達の要望に応えつつ、子ども一人ひとりの良い所を伸ばしながら、健やかに育てていくように日々関わっています。



わかば

今年度のわかばユニットは年少児2名、年中児1名、年長児1名、小学生2名の計6名で生活しています。

小学生を中心にみんなで遊びを展開したり、お互いの個性や良さを認め合いながら仲良く過ごしています。

喧嘩をすることもありますが、自分たちで納得のいくまで話し合いをし、時には他児が間に入りながら一つ一つの出来事と向き合って生活しています。

職員もそれぞれの良さ、子どもらしさを存分に伸ばしていきけるよう支援にあたっています。



学童女子フロア

わんげ

昨年度措置延長児童が1名退所し、小学生が1名入所してきました。現在は小学生3名と中学生3名、高校生2名の8名が生活しています。

年上の児童が中心となっており、歓迎会やお別れ会を実施したり、クリスマスやお正月のイベントも企画して楽しむ姿がみられています。

また、誕生日になるとホワイトボードにみんなでメッセージを書いたり、児童一人一人が他者を思いやる気持ちが育ってきているのを感じます。

今年度も児童と一緒に色んなことを経験・体験していきたいと思っています。



すずらん

昨年度措置延長児童が1名退所し、小学生が1名入所してきました。現在は小学生2名、中学生1名、高校生3名の6名が生活しています。

昨年度から児童らと一緒に話し合いユニットのルールを作ってきました。今では何か問題があるとき児童が中心となって話し合い解決しようとする姿がみられています。

また、自他の区別をつけ自分のものを大切にできるように、日々児童が使うものを揃えたり個別化を図ってきました。

今年度も児童ひとりひとりとよりよい生活について一緒に考えていきたいと思っています。



学童男子フロア

あおば

今年度は小学3年生の子がすみれホームへと引っ越しをし、幼児フロアからあおばに移る子や隣のふたばユニットからおおばにやってくる子もいるなど、メンバー

が少し変わりユニットの雰囲気も昨年度とは違う新鮮な生活を送っています。馴染むまでに時間が掛かりますが子ども同士楽しく遊んでいます。

子どもたちが自分の物を大切にしているの区別がつけられるように共有物の個別化をしました。自分だけの物が増え、嬉しそうにしながら一つひとつの物を大切に使っています。

1年を通して様々な行事があるのでユニット全体が一体感となって頑張っています。



ふたば

あおばユニットから小学3年生が移ってきました。7名の児童が暮らしているその内5名は中高生なので少し落ち着いた雰囲気のあるユニットです。

高校生は将来に向けてお金を貯められる用アルバイトを皆頑張っています。高校1年生の児童は卓球を熱心に続けていて、部活やクラブチームを通して練習に励んでいます。

ユニット全員が毎日楽しく生活出来る様、小中高皆で協力し助け合えるように職員も協力し頑張っています。



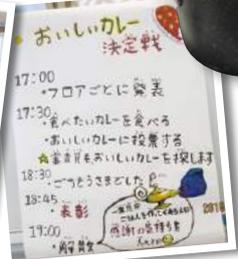
愛児園食事を開催！
各フロア・ホームで
独自のカレーを持ち寄って
お気に入りのカレーを
選びました！

園生活の様子

フォトギャラリー



今年も高齢者カフェを開催！
地域にお住いの方々と子ども達で
工作をしたり、盆踊りを披露して
楽しみました！



地域小規模児童養護施設 野川つくしホーム



昨年度と同様、変わらぬ6名の元気がつパワフルな子ども達と毎日楽しく生活を送っております。3月末、昨年度に続き軽井沢へのスキー（スノボ）旅行に行きましたが、一人ひとりの上達ぶりに感動！そして一年を通じて彼女たちの精神的に大きく成長したなあ、と改めて思える姿にまたまた感動!!..を

した非常に実り多い旅行となりました。4月から専門学校に入学し、ホームから通学している児童も現在おります。近々ホームを巣立つ予定なので、将来楽しみの限りです。スタッフも新しく2名が仲間入りしております。一人は食事作りのプロ！そしてもう一人は園芸のプロです！子ども達、スタッフ共々、これからも応援の程、何卒よろしくお願い致します！

地域小規模児童養護施設 野川すみれホーム

昨年度、2人が新たな道に進み、今年度より1人入所して今現在高校2年生の男児、高校1年生の女児、中学2年生の男児、小学校6年生女児、3年生男児の計5名で生活しています。昨年度はデイズニールランド、デイズニール、尊狩りに2泊3日で旅行へ行き、楽しい思い出作りとなりました。今年度は暖かい家庭作りを目指していき、児童一人ひとりが自分の家だと思えて安心して帰って来られるような環境作りを目指していきます。また地域の方々との連携を図り挨拶や地域清掃に力を入れていきたいと思っています。



地域小規模児童養護施設 生田あやめ



小学2年生の子が新しく入所し、小学2年生、6年生、中学2年生、3年生、高校2年生2名の計6名でのスタートとなりました。今年度も映画やカラオケやソフトボール大会やキャンプなど盛沢山の行事が控えており、楽しい思い出を皆で作れたらと思います。高校受験の子もいるので、笑顔で合格の報告が出来るの良いなと思います。職員4名、子ども6名、お互いに相手の事を思いやり、あたたかいホームを皆で作りに行きたいと思っています。

自立援助ホーム 大志

自立援助ホームは、義務教育終了後、様々な理由で家庭にいらなくなったり、また児童養護施設等を退所し働かざるを得なくなった15歳〜22歳までの青少年が生活しています。昨年度は4月より4名での生活がスタートして就労、一人暮らし開始の為に2名がホームを巣立っています。新たに入居した児童は3名です。現在は20歳女児、専門学校生1名、18歳女児2名、18歳男児、高校生1名、17歳女児高校生1名の5名で生活しています。児童が職員や友人・知人・職場の先輩などに力を借りながら個々に頑張っています。



学童女子フロアの子ども達を中心に家庭菜園を始めました！胡瓜や枝豆等を育て、食卓に並べて食べました！



毎月の子ども集会では園生活のルールを一緒に決めたり、地域の安全マップ作りや誕生月の子の誕生日会をやっています！

初日にみんなでプール開きをしました！暑い日に入って涼んでいます！



子どもの生活・学習支援事業「すえっこ広場」



川崎愛児園では、昨年10月から川崎市からの委託を受け高津区橘地区で小学生の子どもに放課後の居場所を運営しています。両親が共働きであったりひとり親の保護者が仕事で遅くなったりと、保護者が仕事から帰宅するまで一人で留守番をしている子どもが増えています。そのような家庭が「すえっこ広場」に登録し利用しています。

すえっこ広場は、放課後の午後4時から子どもたちが集まります。最初は宿題などの学習の時間です。地域にお住まいの方や大学生がボランティアとして参加していただき、子どもに1対1で丁寧に教えられるようにしています。苦手な部分の勉強でも少しずつできるようになる体験をして、基本的な学習習慣が身に付き前向きに取り組めるようになることを目指しています。

学習が終わるとレクレーションの時間です。トランプやUNOなどのカードゲームや人生ゲームなどのボードゲームで遊んだり、コマやおはじきで遊んだり、読書をしたりと子どもたちそれぞれが遊びを選んでいきます。ボランティアや職員も一緒に遊び、子どもたちがいろいろな人とコミュニケーションをして楽しく過ごしています。

広場では夕食を提供しています。愛児園の調理師と栄養士が食育を意識しながら季節の食材を選びメニューを考えています。時には子どもたちと食事作りをします。おかずの餃子やシューマイ、誕生日の子どもにはケーキなど、子どもたちが食事作りの体験ができるようにしています。

子どもたちや保護者が笑顔で帰る姿を見ると、こういった居場所がどの地域にも必要な資源だと感じています。このような居場所が他の地域にも広がるように意識をして取り組んでいきたいと思っています。



利用者の声

- 苦手だった宿題に積極的に取り組むようになりました。
- いろいろな食材を食べる機会が増えました。



『わくわくコンサート』



平成30年2月に地域交流スペースで『わくわくコンサート』を開催しました。演奏は地域での音楽活動をされている「ムジカパストラール」さんにご協力いただきました。

当日は、愛児園の子どもたちや地域のご家族、またボランティアさんなど約70名の方が参加していただきました。バイオリンやチェロ、マリンバなどの楽器でクラシック音楽から身近なジブリの曲まで素敵な演奏を聴かせてくださり、子どもたちがキラキラした目で演奏を聴いたり音楽によって体を動かしたりと楽しい時間をすごしてもらえたと感じています。

今後も、地域の皆さまがご家族と一緒に楽しめたり、子育てに役に立つ知識を得られる機会をつくっていきたくと考えています。



ともに成長する仲間の一人として

臨床心理士 諏訪部 政好 様



初めまして。年に1・2回ほど愛児園におじゃましています。臨床心理士の諏訪部と申します。愛児園の皆さんに「ジイジ」と言われるのにふさわしい年齢でおじゃました時には、勉強会に参加して職員の方々と一緒に、

「子どもの心理と支援」について勉強しています。
愛児園の子どもたちは、いろいろな理由で生活の場所を児童福祉施設と定められてここにきました。どんな生活をしてきたのか、どんな経験をしてきたのかは、人それぞれです。ご飯の食べ方、衣類の整理の仕方などの生活スタイルも違いますし、振り返ってみれば、楽しい思い出がたくさんある人もいれば、辛い思い出ばかりという人もいます。そのため、それぞれの人が抱えている生活スタイルや思いがぶつかりあって、時には友達や職員と行き違いが起きて、けんかをした時、反抗したくなるほど、心がざわついてしまうこともあるかもしれません。

そう言った時にそばにいてくれるのが愛児園の職員です。時にはお姉さんになったりお母さんになったり、お兄さんになったりお父さんになったり、七変化、八変化の活躍ぶりです。勉強会に参加しながら、私が素敵だと思ったのは、職員のみなさんが色々な役割をこなしながら、また、子どもたちに感情を揺さぶられながらも、子どもたちに「寄り添う専門家意識」という「軸」を一貫して持っていることです。これは、けっこう大変なことなんです。毎日の生活でやんちゃな子どもたちに対してイライラしたり、腹を立てたりすることもありますが、このような「軸」を持ち続けていられることに感心させられるのです。そして、このようなことがなされている背景には、川崎愛児園の支援の方向が各職員にきちんと理解されていることがあると考えます。

「子どもが好き」ということと「福祉の心」の両方を持ち続けようとしている職員のみなさんの少しもお役に立てればという気持ちで勉強会に参加させていただいていますが、このような支援を知るにつけ、反対に勉強させられることも多いのです。そして、今後も、一緒に成長していく仲間でありたいと思っています。昨今です。

支援団体クローズアップ

川崎愛児園に継続的なご支援をしてくださっている団体の方からメッセージを掲載いたしました。

心を育む交流を目指して

一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク

代表理事 **江口 義実 様**
専務理事 **加藤 孝子 様**

一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク（以下、弊社）は、「アートで社会貢献」をモットーに、川崎市を主な拠点として活動させていただいております。

川崎愛児園の子ども達とは、弊社主催の「音楽教室」で一緒に演奏したり、内閣府・厚労省・文科省の未来応援ネットワーク事業として「子ども新聞クラブ」で一緒にワークショップや市役所取材をしたり、かれこれ6年ほど交流を図らせていただいております。

子ども達の成長ぶりには驚きが隠せません。いつも指揮者をやりたがり、いざ本番になると「一緒に指揮して」と言っていたAくんは今やリーダーシップを発揮するしつかり者に。フルートが上手く吹けなくて感情的になっていたBくんは県を代表する屈指のスポーツマンに。甘ん坊さんだったCさんはとても大人らしい対応ができるようになりました。

そんな子ども達の中でもDさんは、弊団の活動を協力してくれています。弊団が出版した絵本「かーくん」を、音楽朗読劇として公演・動画制作をするようになった際、Dさんには、主役の「かーくん」役を担ってもらいました。公演は代々木上原・船橋・川崎の各地で行い、各会場ともに満員の観客の中で、Dさんは堂々と主役を務めてくれました。そして観客の皆さんからは感動の涙が溢れ、Dさんの「かーくん」役に大きな拍手や声援が挙がりました。実は、彼女の夢は「声優」になること。決して簡単な仕事ではないですが、是非その夢を叶えて欲しいと思っています。

最後に、弊団は今年後半より「ペースで月1回開催していく予定です。サロンのお楽しみ企画に参加してくれた子ども達のプラスの感情とその振り返りを図っていくことで「心の土台」を自然と育んでもらいたいと考えております。



愛児園と我家のながい関わり

庄司 和子 様

私は現在週2回、幼児フロアの夕食作りのお手伝いをしています。

しかし、我家が里親登録した37年前にふる里親で初めて受け入れたお子さんが愛児園の子でした。その子は小さな男の子で帰る時に泣いてかわいそうになったことを思い出します。その後は男の子2人を小学生から高校卒業まで毎年夏と冬にふる里で来てくれました。実子の息子達と同年齢でお互いに仲良く過ごしました。

その後、主人が里親のアドバイザーも兼ねてケース研究会に出席させていただくようになりました。主人が亡くなった後、今度は私が園長先生に声を掛けていただき現在5年目になりました。

我家は里親としては長期・短期でたくさん子ども達と生活してきました。中にはどうしてよいか分からない問題も抱え困り果てたこともありましたがそんな時は園長先生と奥様に相談して助けていただきました。

そういうわけで我家と愛児園の縁は深く、いつまでも…と願いますが、私は来年後期高齢者（75歳）いつまで続くか不安です。若い職員の皆様とかわいい子ども達のパワーをもらいながら、できるだけ頑張らせていただきたいと思っています。

最後に我家の次男と現在白山愛児園にお勤めの高木くんが幼なじみで、私が愛児園を訪ねた時に声をかけていただいた時は小さな姿しか知らなかったのが感激しました。今は2人とも2児の親です!!こんな所にも縁を感じていますし、歴史も感じています。

愛児園の子どもさん達をはじめ職員の皆様幸せをただただ主人と共に祈っております。



みんな違ってみんないい

コスモス文庫 幸山 真理子 様

専業主婦だった私が「家族以外の誰かの役に立ちたい」そんな漠然とした思いで愛児園の門をたたいたのは、十八年前のことです。既にボランティアとして愛児園で活動していた「コスモス文庫」を紹介していただきました。

「コスモス文庫」は毎週水曜日の午後、幼児さんを中心に絵本の読み聞かせをしている団体です。子どもたち全員の前で絵本を読んだり、一対一でお膝に抱っこして読んだりしています。

初めは子どもたちがただただ可愛くて、一緒に絵本を見るのが楽しくて…。でも、しばらく通ううちにじつと座ってられない子や、集中できない子、対象年齢の絵本を理解できない子がいることに気がつきました。彼らはその家庭環境から多動などの発達障害があることも知りました。

どうしたら子どもたちの成長に力が貸せるのか？小学校に入学する前に何とか他の子どもたちと同じように集中力をつけてあげたい。動き回る子どもを座らせて、理解できそうな絵本を選び、読んだりしたこともありました。

でも、いつからか「みんな違ってみんないい」と思うようになりました。それぞれの子どもたちの個性に目を向けたら、その子のできないことではなく、できることが見えてきました。興味のある絵本だと集中して熱心に聞いてくれるのです。内容もよく理解し、絵を見て様々な想像力を膨らませ、絵本を心から楽しんでいく様子です。それぞれのペースで着実に成長していくことが実感できました。

十八年続けていると、親戚のおばさんのように子どもたちの成長を見守ることが出来ます。幼児さんだった子どもが「高校に入学しました」と挨拶に来られることもあります。立派に成長した姿に胸が熱くなります。続けていて良かったと思う瞬間です。

これからも絵本を通して、子どもたちとたくさんおしゃべりをしながら楽しい時間を過ごしたいと思います。自分の言葉で豊かに気持ちを表現できることが彼らの生きる力になると信じて、今後もコスモス文庫の活動を続けていきたいと思っています。



H29年度 文体行事・作品展のご報告

卓球大会

中学生男子の部

..... Rくん 優勝

高校生男子の部

..... Yくん 3位

女性職員の部

..... Fさん 優勝

野球・ソフトボール大会

女子ソフトボール：準優勝

..... Yさん 敢闘賞

水泳大会

小学生男子 クロール50mの部

..... Tくん 銅賞

小学生女子 クロール50mの部

..... Hさん 銀賞

あすなる作品展

神奈川県民共済生活協同組合理事長賞

工芸の部 銀賞：..... Yさん

工芸の部 銅賞：..... Yさん、Hさん、Sさん

絵画の部 銅賞：..... Hくん、Kくん

手芸の部 銅賞：..... Kくん

書道の部 銅賞：..... Kさん



あすなる作品
銀賞作品



年間行事

4月

お花見&BBQ、
入学式・入園式



5月

こどもの日
(市長・市社協
会長来園)



6月

班別遠足
卓球大会



7月

七夕会
幼児キャンプ
小学生
キャンプ



10月

愛児園まつり
ハロウィン
パーティー
街頭募金



9月

野球・
ソフトボール大会
中高生キャンプ
水泳大会



12月

クリスマス会



1月

元旦
送別マラソン
あすなる作品展



2月

節分



3月

ひなまつり
スキー教室
卒園旅行
卒業と進級を
祝う会

